



## あなたの教室に天文学者を届けます！

国立天文台は、国内外の小中学校で天文学や宇宙の授業を行う「ふれあい天文学」を2026年度も行います。講師は国立天文台の天文学者(※)で、出張授業だけではなく、オンライン授業も行います。2010年度にスタートしたふれあい天文学では、例年50名を超える職員が講師となって、星や宇宙の話題を、国内外の小中学校に届けています。今度はみなさんの学校で天文学者の授業を行ってみませんか。(※)天文学あるいは関連する分野の研究・開発をしている国立天文台職員および元職員



## 「ふれあい天文学」ってどんな授業なの？

<https://prc.nao.ac.jp/delivery/>



©国立天文台

訪問先は、全国の小中学校、世界各地の日本人学校や補習授業校、学校、聾(ろう)学校や盲学校、病院内の特別支援学校と多岐にわたっています。

授業のタイトルは

- 138億光年宇宙の旅 つながっている宇宙・社会・いのち
- 太陽のお話
- 宇宙のナゾに迫る
- 宇宙の中のブラックホール などいろいろ。(学習指導要領の範囲とは異なります。)

若手の研究者から国立天文台の重鎮、そしてテレビで見かける天文学者まで参加しています。

## 子どもたち・先生・天文学者の感想

子どもたち、学校の先生、天文学者から寄せられた感想をご紹介します。

- みんなが天の川に住んでいることがびっくりしました。(小学生)
- アルマ望遠鏡は標高5000mほどの場所に60台ほどの望遠鏡を置きそれを機械が計算して1つの巨大な望遠鏡として考えるというのはとてもおどろきでした。(小学生)
- 地理で習った「白夜」の特徴を生かして24時間観測するというのは驚きでした。何年もかけて準備した衛星が一瞬で終わってしまうこともあるけれど、失敗してもめげないという考え方を見習いたいです。(中学生)
- 子ども達には難しいだろうと思っていましたが、授業が終わった後、銀河系とかビッグバンとか宇宙旅行について沢山語ってくれました。

ドイツにいながら日本語であれだけの内容を教えていただけたこと、大変貴重な体験でした。「どうせわからないから。」と決めつけずに参加を促してみても良かったです。(保護者)

## 授業風景



グアナファト日本人学校



北海道真駒内養護学校



山脇学園中学校

## 実施先（2025年度）



## 実施概要 締切：2026年5月31日（日曜日）

- ◆対象：国内外の小学校（4年生以上）、中学校
- ◆授業時間：45～100分（1～2コマ）程度
- ◆内容：天文学に関わる授業と質疑
- ◆実施期間：2026年10月から2027年2月の間
- ◆実施方法：講師を派遣する訪問授業、オンライン授業（Zoomを推奨）
- ◆その他：授業内容、実施時期、実施方法などは、学校と講師と相談の上で決定します。  
要望に応じてキャリアパス（天文学の仕事）の話もします。  
この事業は「国立天文台基金」の支援を受けており、実施校の負担はありません。  
原則として学校を通して先生からお申し込みください。
- ◆お申込、お問い合わせ先：[fureai@ml.nao.ac.jp](mailto:fureai@ml.nao.ac.jp)